



2002年2月20日 第2002-33号

【発行】J A M

【発行責任者】大山勝也

【編集】社会政策局

03-3451-2586

E-MAIL : [syakai@jam-union.or.jp](mailto:syakai@jam-union.or.jp)

## 全国民を集めた総行動も辞さず！

「窓口3割負担増断固反対・安心の医療制度改革の実現！」  
連合怒りの2.20国会座り込み行動で笹森連合会長が決意

2月20日、連合は安心の医療制度改革実現を求め、国会前で座り込み行動を展開。全体で1000人、JAMからは13人が参加しました。また、民主党を始めとする野党議員68人が駆けつけ、参加者を激励。各党の代表が政府の改悪案を断固阻止するとの決意を表明しました。

行動の冒頭挨拶にたった笹森連合会長は、小泉総理の構造改革が国民を苦しめていることを批判。全国民を集めた総行動も辞さないとの決意を述べました。

また、参加した各産別の代表も抗議と決意表明。JAMからは古川社会政策局部長が、JAMの取り組みを報告し、3割負担絶対反対、医療制度抜本改革実現に向け、連合構成組織が力を合わせて全力で取り組もうと訴えました。

各代表の発言概要は次の通りです。

### 【笹森連合会長】

小泉総理は国民生活が既にずたずたになっていることを分かっているのか。総理就任から9ヶ月。この間、経済指標で少しでも良くなったものがあるだろうか。失業率5.6%は1日に1万人が失業している計算。自殺者は16分に1人。こんな日本に誰がしたのか。

私は、今の日本を少しでも良くできるのであれば何でもする。今、私たちを雇用と将来生活へのW不安が襲っている。これをなんとかできるのは労働組合。国民をこれ以上苦しめるのであれば、連合は全国民を集めたゼネラルアクション（総行動）を起こす。いつでも一番弱いも

のに負担が押しつけられる。医療費の負担増がまさにこれだ。今こそ声をあげよう。労働組合を、日本を変え、明るい日本を取り戻そう。

### 【菅 直人 民主党幹事長】

政府の改正案は抜本的な改革ではなく、その場凌ぎで、負担だけが残るものだ。これでは構造改革にはならない。小泉総理こそが構造改革の抵抗勢力。小泉退陣なくして改革はない。

### 【山本孝史 民主党NC厚生労働大臣】

負担3割がなぜ医療制度改革なのか。小泉総理が厚生大臣だった平成9年に、政府は2割負担に引き上げて平成12年までに改革をすると約束した。改革は行われず今は平成14年だ。そしてまた、改革なき負担増を押しつけようとする。私たちが求めるのは「安心できる医療」の確立。なぜ政府は弱いものいじめばかりするのか。今国会で健康保険法の改悪は絶対させない。

### 【土井 たか子 社民党党首】

医療制度の抜本改革があってはじめて「備えあれば憂いなし」といえる。抜本改革前に負担増だけあっては決してならない。打倒小泉で闘い抜く。